

# 平成 29 年度船橋市郷土資料館運営方針

## 1. 基本方針

「ふるさと船橋」への思いを育む生涯学習施設として、船橋市に関連する考古・歴史・民俗等の資料についての調査・研究・保存・活用を図り、市民の学習・文化活動の推進及び支援に努める。

## 2. 運営方針

- (1) 船橋市を中心とした地域の歴史・文化等に関する資料についての調査研究を進め、その成果を展示事業や刊行物発行等により市民に提供する。また、船橋市の貴重な文化遺産である郷土資料の収集・保管・管理に努める。
- (2) 市民の学習要求や社会の動向に配慮しながら事業を実施し、利用者や地域住民の多様な要請に応えていく。
- (3) 飛ノ台史跡公園博物館をはじめとする博物館や社会教育機関、学校教育機関等の関連諸機関及び施設・団体との連携により、事業を効果的に推進する。

## 3. 事業実施の重点

- (1) 見学会・講演会を開催し、船橋市の歴史や文化についてわかりやすく市民に伝えるとともに、各分野の学術研究の成果を公開していく。
- (2) 学校教育機関と連携した事業を実施し、学習内容に即した資料を提供することにより、児童生徒の学習活動を支援する。
- (3) 飛ノ台史跡公園博物館や市内の公民館・図書館その他の社会教育機関・施設、社会教育行政機関と連携して、弾力的な事業を実施し、利用者へのサービス及び利便性を向上する。
- (4) 耐震補強、バリアフリー化を進めるとともに、展示リニューアルを成功させ、安全安心な船橋の歴史・文化を語る生涯学習施設として、リニューアルオープンを果たす。